

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

1 項 商業費

4 目 貿易振興費

経済通商総室（内線：7659）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
環日本海経済交流推進事業	(36,839) 30,000	(12,224) 5,475	(24,615) 24,525			(6,839)	(30,000) 30,000	

トータルコスト 43,716千円（前年度 9,618千円）[正職員：1.7人]

主な業務内容 環日本海地域との経済交流を促進するための訪問団の受入れ、商談支援など

工程表の政策目標（指標） 県内企業の販路拡大、市場開拓

※上段（ ）内はふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

説明

1 事業の概要

環日本海諸地域との経済交流を一層促進するための訪問団の受け入れ、同地域における商談参加、航路運航会議などに機動的に対応する。

また、海外企業との取引支援のため、通訳、翻訳等を委託する。

2 事業内容

（単位：千円）

地域等	事業内容	予算額
韓国	商談会参加企業の支援、航路活性化会議への参加など	8,443
ロシア	商談会の開催及び参加企業の支援、企業家の招聘など	12,720
中国	吉林投資貿易博覧会へのブース出展など	5,576
その他の地域	経済交流を目指した投資家招聘、商談会開催など	3,261
経済交流支援	県内貿易支援機関に通訳・翻訳業務を委託し、企業の海外展開を支援 【雇用人材総室のふるさと雇用再生特別交付金事業】	(6,839)
計		(36,839) 30,000

3 これまでの取組状況、改善点

- ・環日本海地域から、船社等航路関係者、企業家などを招聘し、また、韓国・中国・ロシアを訪問しての商談会支援など、航路の安定運航やビジネスマッチングの機会提供などに努めてきたところ。[商談会支援14回、企業家招聘11回、航路会議11回など]
- ・ロシア語、韓国語の通訳を1名ずつ県内貿易支援機関に配置し、県内企業の販路開拓支援などを行っている。
- ・経済交流の拡大につながる訪問団の受入れ、有力バイヤーの招聘など、効果が見込める取組に時機を失することなく、機動的に対応する必要がある。